

2024 マツダファン・サーキットトライアル

大会特別規則

公示

本競技会はFIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則、ならびにそれに準拠した日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則およびその細則、マツダファン・サーキットトライアル競技規定及び本競技会特別規則、オートポリス一般競技規則に従い、地方競技およびクローズド競技として開催される。

1. 大会名称

2024 マツダファン・サーキットトライアル

2. 競技種目

サーキットトライアル

JAF公認:地方競技 JAF届出:クローズド競技

JAF公認番号 公式通知または公式プログラムに示す。

3. オーガナイザー

〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8

株式会社オートポリス 代表 金子 隆

オートポリス倶楽部(APC) 代表 金子 隆

4. 開催日及び開催場所

開催日:12月7日(土)~12月8日(日)

開催場所:オートポリスインターナショナルレーシングコース 右回り4.674km

5. 参加申込み

申込期間:10月29日(火)~11月18日(月)

申込先:B-Sports・MFCT事務局

〒153-0064

東京都目黒区下目黒2-18-3-8F B-Sports・MFCT事務局

TEL03-5487-0735

6. 大会役員

大会組織委員長 :金子 隆 大会組織委員 :有村 純徳

大会審査委員長 :高谷 克実 大会審査委員 :村井 康夫

大会競技長 :開田 祐矢 大会副競技長 :臼杵 正弘

コース委員長 :池田 直広 計時委員長 :黒崎 豪

技術委員長 :安達 千年 救急委員長 :吉田 伸彦

大会事務局長 :菊西 康章

その他の競技役員は大会公式通知にて告知される。

7. 参加申込み参加受理申込み事項の変更

- ①参加申込方法および参加申込事項の変更は、マツダファン・サーキットトライアル競技規定に従う。
- ②1車両につき1名のドライバーのみ参加出来る。1車両に対し、複数のドライバー登録は認められない。
参加車両名は15文字以内とし、必ず車名(000ロードスター等)を記載すること。

8. 保険

ドライバーがオートポリス走行会員ではない場合、もしくは今年度オートポリスを初めて走行される場合、オートポリスが準備するスポーツ安全保険(非課税2,000円)に加入することが義務づけられる。

9. 参加資格

- ①NORMAL・TUNEDクラス :当該年度有効な国内競技運転者許可証B又はAの所持者であること。
(国際運転者許可証保持者は参加不可)
- クローズドクラス :オートポリス倶楽部の会員もしくは、大会当日だけの準会員でなければならず、当該開催日有効な4輪運転免許証を所持していなければならない。(国内競技運転者許可証不要)

10. 参加車両

- ①NORMAL・TUNEDクラス(別紙競技規則参照)
参加車両は、JAF国内競技車両規則第3編スピード車両規定第7章スピードB車両規定とする。参加車両は保安基準に合致し有効な自動車検査証を有する乗用車であること。又、技術委員長が安全でないと判断し修正を命じた場合は、その指示に従わなければならない。
- ②JAF届出クローズドクラス
参加車両は、JAF国内競技車両規則第3編スピード車両規定第7章スピードB車両規定とする。参加車両は保安基準に合致し有効な自動車検査証を有する乗用車であること。又、技術委員長が安全でないと判断し修正を命じた場合は、その指示に従わなければならない。

11. ドライバー装備品

- 全てのドライバーは、公式車両検査と共に装備品の検査を受けなければならない。
- ①ヘルメットは国内競技車両規則第5編細則スピード競技用ヘルメットに関する指導要綱に従ったJIS規格・SNELL規格に適合したもの(オープンカーはフルフェイス型)を着用すること。(レーシングマスク(パラグラバス)推奨)
 - ②グローブは耐火製又は皮製で指先まで覆うものを着用すること。(レーシンググローブ推奨)
 - ③服装は耐火製の高い長袖、長ズボンの服装を使用すること(レーシングスーツ推奨)
 - ④運動靴等を使用すること(レーシングシューズ推奨)

12. クラス区分

- ①別途競技規定に示す
- ②参加台数が満たない場合は組織委員会承認の下、クラスを統合する場合がある。
- ③クローズドクラスはクラス区分を設けない。

13. 参加確認

大会前日、及び大会当日に参加受付を行う。受付時には下記の書類を提出、もしくは提示しなければならない。大会前日に受付を済ませた者は、大会当日の受付は免除される。

- ①正式参加受理書
- ②国内運転者競技許可証(JAF公認クラス参加者のみ)
- ③運転免許証

14. 公式車両検査及び再車両検査

参加車両は、決められた時間内に車両検査を受検しなければならない。技術委員長は車両検査及び、改造が不適切な場合は修正を命じる事ができる。修正が出来ない場合は、不合格となり競技に参加出来ない場合がある。又、車両検査と同時に競技中に着用する装備品の検査を受けなければならない。ゼッケン、自動車番計測器(トランスポンダー)及び申請した車載カメラ等は、装着して受検しなければならない。尚、再車検時は車載カメラの撮影を停止すること。吸盤式のカメラ等をフロントガラスその他に取り付けることは出来ない。

15. ドライバーズブリーフィング

タイムスケジュールに従って、ドライバーズブリーフィングに出席しなければ出走できない。遅刻、欠席した場合は再ブリーフィング手数料11,000円(消費税込み)を支払い、再ブリーフィングを受けなければならない。

16. 競技に関する規定及び方法

①公式車両検査に合格した車両のみがコースインできる。

②ピットレーンは走行レーン、作業エリアに区分され、ピットレーンの走行は走行レーンのみである。

いかなる場合も他の車両の走行を妨げてはならず、ピットアウト車両は、ピットインしてきた車両に優先権があることを承知していなければならない。走行中にピットアウト、ピットインする場合は、合流地点に引かれているホワイトラインを踏み越えないこと。

③競技は2ヒートにて行う。スタートは、ピットエンドシグナルが緑に点灯した後、オフィシャルの誘導によりゼッケン順に1台ずつコースインする。競技のタイム計測はコースイン2周回目から始まり、ラップタイムはタイムトライアル方式で1/1000秒まで計測される。コースイン後の1コーナーまではコースの左側を走行すること。

④1走行区分の最大台数は46台とする。1ヒートの時間は15分～20分とする。コースインは1クラスを基本とするが、大会審査委員会の承認後、他クラスと混走する場合がある。コース上もしくはコース脇で停止した場合は、後続車に十分注意し、復帰する事ができる。

この場合、オフィシャルによる安全な場所への移動後、自力による復帰の場合を除き、当該ヒートの以後のタイムは無効となる。コース上のショートカット(10番ポスト先から最終コーナーへ通り抜ける)行為は禁止され、罰則の対象となる。コース上での安全回避時以外でのバックギアの使用は禁止される。当該ヒート中、走路外走行をしてはならない。

⑤当該ヒート終了後チェッカーフラッグが提示され、追越しを禁止する。チェッカーフラッグを受けた車両はコースを1周して必ずピットインし、オフィシャルの指示に従いパドックへ戻らなければならない。

⑥競技続行が危険と判断された場合、競技長は競技を中止することがある。赤旗が提示されたら全車ピットイン後、オフィシャルの指示に従わなければならない。競技再開の合図があるまで自己の車両から離れることは出来ない。競技が再開されると、ピットエンドシグナルは緑点灯し1台ずつコースインする。又、競技の残り時間は競技長が決定する。

17. 自動計測用発信装置(トランスポンダー)

①全ての参加者は主催者が用意したトランスポンダーを車検時まで装着し、公式予選、決勝レースを通じ装着していなければならない。取り付けを拒否した場合、出走は認められない。

②トランスポンダーの配布は参加受付時に行い、返却については各レース終了後1時間以内とする。

(完走車両は車両保管解除後30分以内、予選不通過車両は当該予選終了後1時間以内とする。)

万一破損・紛失した場合、2024年オートポリス一般競技規則に規定される補償料が主催者より請求される。

③トランスポンダーは指定のホルダーと合わせて使用すること。指定の場所にタイラップ・粘着テープ等でホルダーを確実に固定する。計測装置本体のステッカー部分を上側とし、縦に取り付けること。◀運転席もしくは助手席のドアポケット付近に取り付ける。▶※参加受付時に取り付けの説明があった場合はそれに従うこと。

18. 順位の決定及び賞典

別途マツダファン・サーキットトライアル競技規定に示す。

19. 損害の補償

参加者その他関係者はオーガナイザー・競技役員・施設関係者が一切の補償責任を免除されている事を承諾しなければならない。参加車両の破損は理由の如何を問わずその責任は各自が負わなければならない。会場施設内の器物破損汚損、その他施設関連車両及び人身へ損害を与えた場合は、理由の如何を問わずその全責任を負うものとする。

20. 抗議

参加者は、不当に処遇されていると判断した場合は国内競技規則にしたがって抗議をすることが出来る。但し、審判員の判定、使用コース、計時装置に対する抗議はできない。参加車両に対する抗議は対象となる箇所を文章に記載して抗議料を添え、競技長宛に提出しなければならない。車両に対する抗議が否決された場合は、その費用を提出者が負担しなければならない。分解に関する費用は技術委員長が算定する。尚、抗議が可能な時間は暫定結果発表後30分以内とする。

21. 競技の延期、中止、短縮、合併等

天候、その他不可抗力の理由により、競技会の実施が困難になった場合には、大会審査委員会の決定により競技会の延期、中止、短縮、合併を行う場合がある。短縮、合併の場合、順位の判定が出来る限り当該クラスは成立したもとのとする。

22. 参加者の厳守

参加者及び関係者は競技会を通じ国際モータースポーツ競技規則、およびその付則、国内競技規則、およびその細則、本競技会大会特別規則、オートポリス一般規則、競技役員の指示に従うものとする。本規則及び競技に関する諸規則の解釈に疑問が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終とする。

2024 マツダファン・サーキットトライアル 大会組織委員会